

チリ経済情勢報告(2020年8月)

<概要> 景気は、コロナウイルス等の影響から悪化しているものの、一部下げ止まっている。

- 消費は厳しい状況が続いているが、下げ止まっている。
- 観光は厳しい状況が続いている。
- 生産は、工業は減少、鉱業は増加。企業マインドは回復している。
- 失業率は高い水準にあり、大きく悪化している。
- 物価は緩やかに減少している。
- 貿易は黒字が続いている。
- 銅価格は大きく上昇、為替は足下ペソ高傾向、株価は弱含み。

先行きについては、コロナウイルスの感染状況と回復、世界経済、特に米中間対立に加え、新憲法制定議論、財政悪化・税制等内国政治動向に留意する必要がある。

1. 経済指標

(1) GDP成長率(2020年Q2)

2020年の第1四半期(4~6月期)の実質GDP成長率は前年同期比▲14.1%と、2期ぶりに減少に転じた。また季節調整済前期比の伸び率は▲13.2%となった。

①需要項目別の動向

内需は前年同期比▲19.1%(前期同▲2.8%)となった(寄与度▲19.3%)。消費は前年同期比▲20.2%(前期同▲2.0%)となった。内訳は、民間消費が同▲22.4%(前期同▲2.1%)、政府消費は同▲11.5%(前期同▲1.3%)となった。総固定資本形成は前年同期比▲15.1%(前期同0.5%)となった。内訳をみると、機械・設備投資が同▲10.9%(前期同▲9.8%)、建設・住宅投資が同▲17.4%(前期同6.6%)であった。

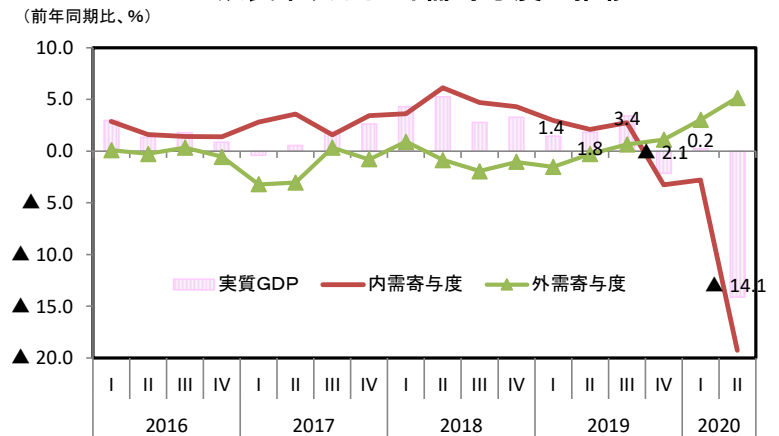
外需の寄与度は、5.2%となった。輸出は、前年同期比▲2.8%(前期同1.0%)となった。品目別では銅が同0.6%(前期同5.6%)と増加し、鉱業品全体も同4.2%(前期同6.9%)と増加した。財全体では同1.6%(前期同3.3%)と増加、農林水産品は同▲14.8%(前期同3.3%)の減少となった。輸入は、前年同期比▲21.4%(前期同▲9.4%)であった。

外需の寄与度は、5.2%となった。輸出は、前年同期比▲2.8%(前期同1.0%)となった。品目別では銅が同0.6%(前期同5.6%)と増加し、鉱業品全体も同4.2%(前期同6.9%)と増加した。財全体では同1.6%(前期同3.3%)と増加、農林水産品は同▲14.8%(前期同3.3%)の減少となった。輸入は、前年同期比▲21.4%(前期同▲9.4%)であった。

②セクター別の動向

セクター別では、銅が前年同期比1.1%(前期同3.7%)増加し、その他の鉱業は同5.9%(前期同20.9%)と増加した。鉱業全体では同1.6%(前期同5.3%)と増加した。製造業は同▲10.6%(前期同0.8%)と減少した。農林業は前年同期比▲6.0%(前期同▲3.5%)、水産業が同▲6.3%(前期同▲6.8%)となった。

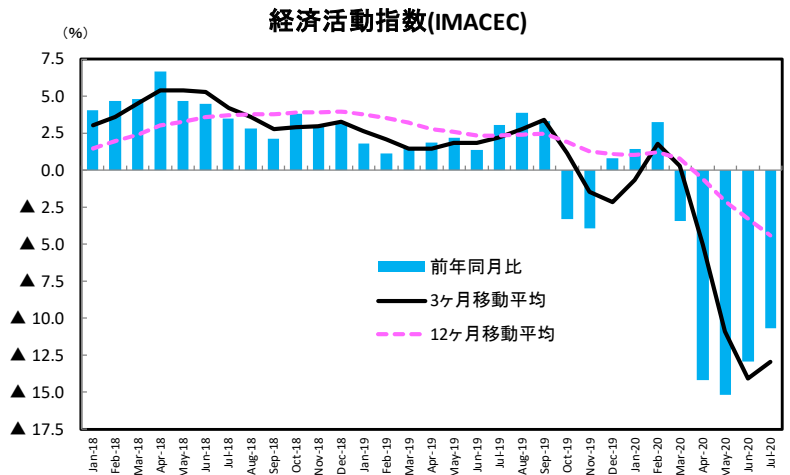
GDP成長率及び内外需寄与度の推移



**(2) 経済活動指数(IMACEC) - 前年同月比 ▲10.7% -**

7月のIMACECは前年同月比 ▲10.7%、(季節調整済前月比は1.7%)となった。営業日数は昨年同数だった。鉱業は前年同月比1.4%、鉱業以外の業種は同 ▲12.0%だった。季節調整済前月比では鉱業は0.9%、非鉱業部門は1.8%となった。

中銀アンケート(9月)による見通しは8月 ▲8.9%(中央値)となっている。



**(3) 消費 - 厳しい状況だが下げ止まり -**

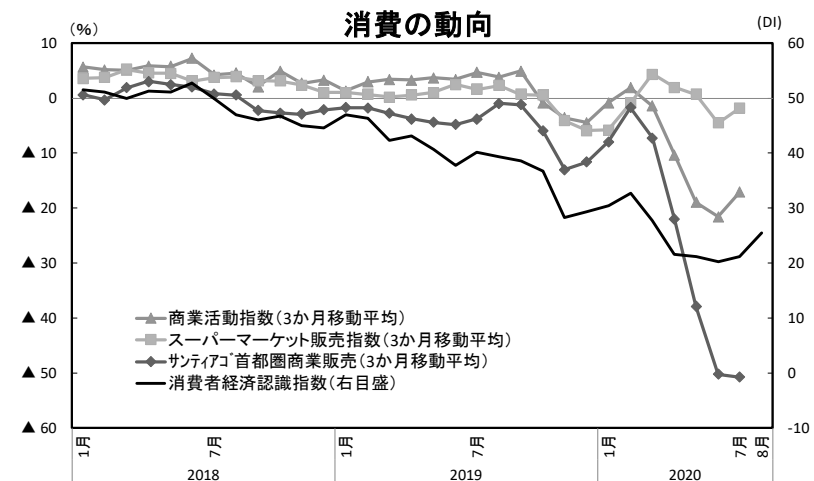
① 7月の商業活動指数(実質, INE公表)は、前年同月比 ▲11.2%、同指数の小売業(除く車)は同 ▲11.3%となった。

② 7月のスーパーマーケット販売額(実質, INE公表)は、前年同月比 0.3%となった。

③ 商業販売額(チリ商工会議所公表, サンティアゴ首都圏, 暫定値)は、7月は前年同月比 ▲47.9%となった。

④ 8月の消費者経済認識指数(IPEC, Gfk Adimark公表)は25.5(前月差4.3)、個人の景気認識(現状)は23.6(同6.6)と、引き続き50(中立点)を下回っている。

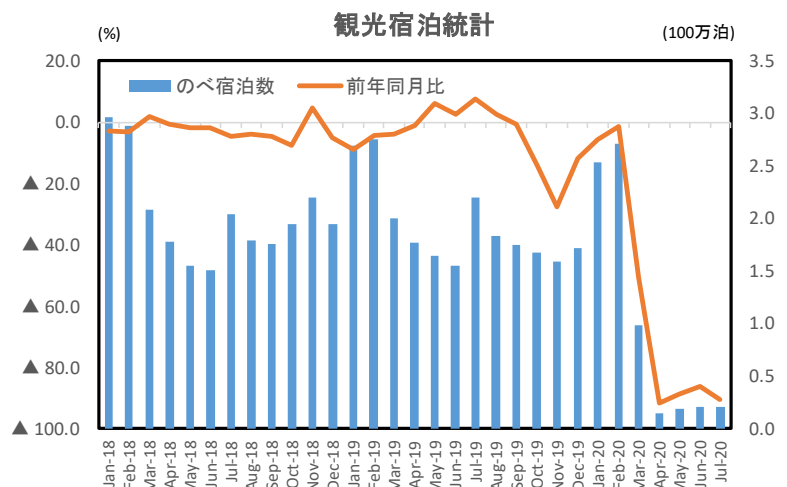
⑤ 8月の新車販売台数は19,037台(前年同月比 ▲42.4%)となった。



**(4) 観光 - 厳しい状況が続いている -**

7月の観光宿泊調査(INE公表)は、のべ宿泊日数が208,336日、前年同月比 ▲90.5%となった。

地域別では、シェアの大きい首都圏州は同 ▲95.1%(寄与度 ▲36.5%)、バルパライソ州は同 ▲95.1%(寄与度 ▲10.5%)となった。その他の地域合計では、同 ▲86.1%となった。



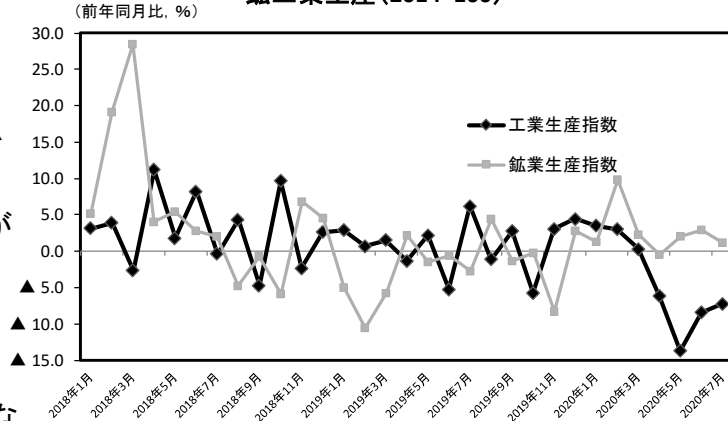
**(5) 鉱工業生産，電力－工業は減少，鉱業は増加－**

7月の工業生産指数は、前年同月比▲7.2%となった。セクター別では機械製品が増加（前年同月比寄与度0.83%）、食料品が減少（同▲1.97%）に寄与した。

7月の鉱業生産指数は前年同月比▲10.1%となった。銅生産量は同▲4.6%となった。

7月の電力指数は前年同月比▲5.2%となった。

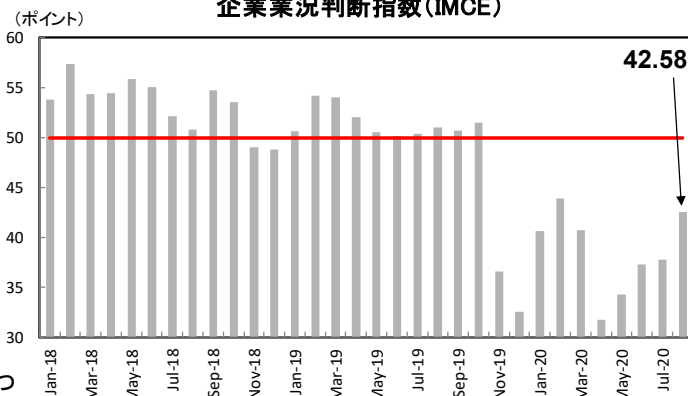
**鉱工業生産(2014=100)**



**(6) 企業の業況判断－回復－**

8月のIMCE（企業業況判断指数）は42.51ポイントで、前月差4.70ポイントとなったが、中立点を引き続き下回っている。内訳を見ると、商業が45.08（同4.46ポイント）、鉱業が51.28（同0.96ポイント）、製造業は44.63（同2.64ポイント）、建設業が25.72（同13.04ポイント）となった。

**企業業況判断指数(IMCE)**

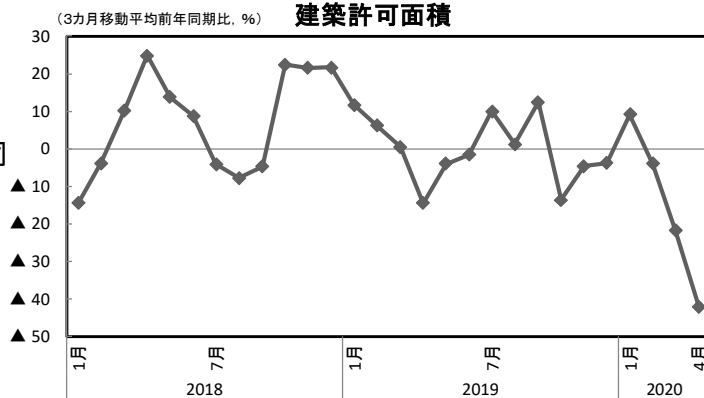


**(7) 不動産－大きく減少している－**

※コロナの影響により公表が遅れている。

4月の建築許可面積（INE公表）は前年同月比▲42.3%（3か月移動平均）と3か月連続で減少した。内訳を見ると、住居が同▲42.0%，非住居が同▲42.8%となった。

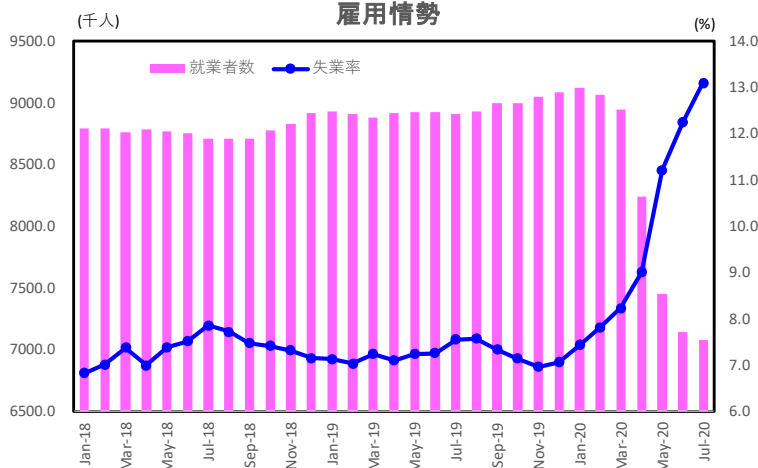
**建築許可面積**



**(8) 雇用－失業率は高い水準にあり、大きく悪化している－**

5～7月期の失業率は13.1%（前年同期差5.54%）と、高い水準にある。労働力人口は1,499,464人減少（前年同期比▲15.6%）、就業者数は1,837,366人減少（同▲20.6%）し、失業者数は337,901人増加（同46.4%）している。就業者数を職業別にみると、商業が前年同期比寄与度▲4.88%，建設業が同▲2.99%と減少に寄与している。

**雇用情勢**



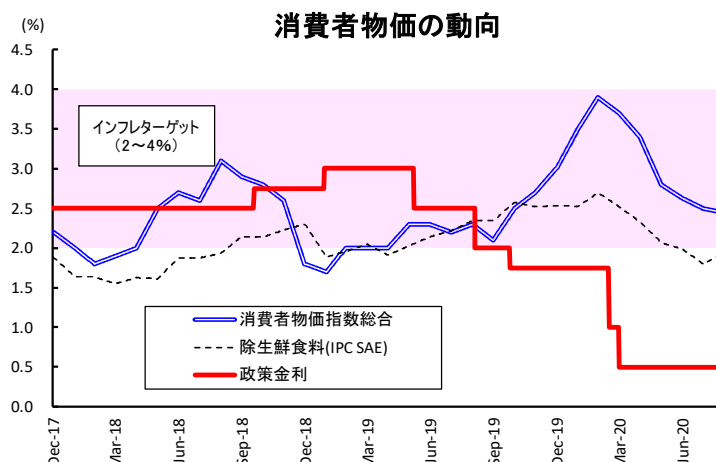
7月の賃金(速報値)は、名目は前年同月比2.8%、実質は同0.3%となった。

### (9) 物価－緩やかに減少－

8月の消費者物価指数(総合)は、前月比は0.1%、前年同月比は2.4%となった。品目別に前年同月比の動きをみると生鮮(12.6%)、食料品(6.3%)が上昇している一方、燃料(▲2.6%)が下落している。なお、生鮮・燃料を除く指数は、前月比0.2%、前年同月比2.0%であった。

中銀アンケート(9月)によるインフレ期待は1年後:2.6%(前月2.5%)、2年後:3.0%(前月3.0%)となっている。

7月の生産者物価(全産業)は、前月比は4.3%、前年同月比は8.5%となった。農林牧畜(前年同月比17.4%)が上昇した。

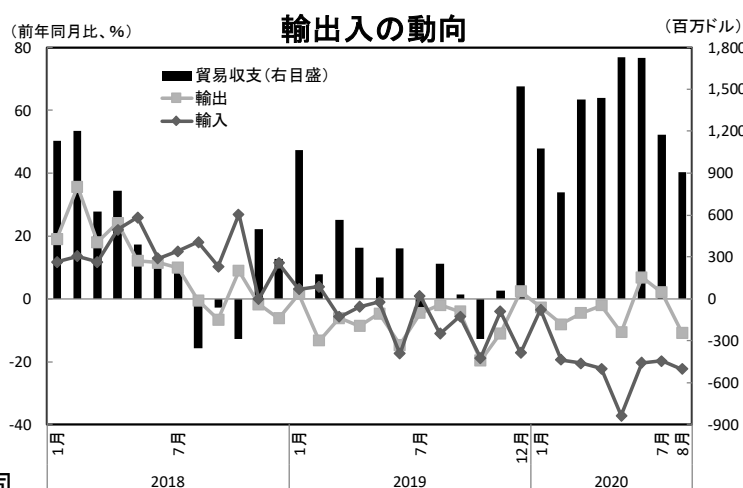


### (10) 貿易－黒字が続いている－

① 8月の輸出額(FOB)は54.2億ドル(前年同月比▲10.8%)となった。内訳を見ると、鉱業品30.9億ドル(同▲9.4%)(全体の57%)、農林水産品3.1億ドル(同▲8.5%)(全体の6%)、製造業品20.2億ドル(同▲13.1%)(全体の37%)となった。鉱業品のうち銅は27.6億ドル(同▲13.2%)(鉱業品輸出額全体の89%)となった。

② 8月の輸入額(FOB)は45.2億ドル(前年同月比▲22.4%)となった。内訳(CIF)は、消費財13.5億ドル(同▲27.2%)、中間財23.4億ドル(同▲24.0%)、資本財11.3億ドル(同▲9.9%)となった。

③ 8月の貿易収支(FOB)9.0億ドルの黒字となった。



### (11) 対日・中・韓貿易

① 対日貿易(FOB):7月の貿易額は、輸出額4.9億ドル(前年同月比▲7.5%)、輸入額0.9億ドル(同▲60.5%)、貿易総額では5.8億ドル(同▲23.2%)となった。

② 対中貿易(FOB):7月の貿易額は、輸出額22.8億ドル(前年同月比35.2%)、輸入額14.4億ドル(同0.2%)、貿易総額では37.2億ドル(同19.1%)となった。

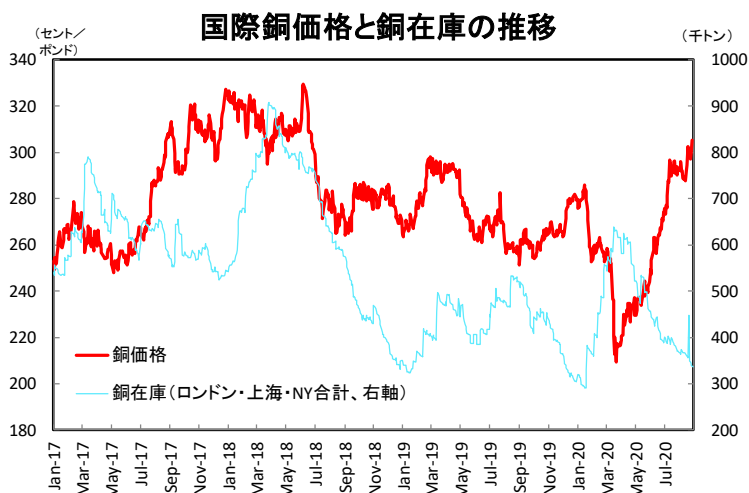
③ 対韓貿易(FOB):7月の貿易額は、輸出額2.9億ドル(前年同月比▲21.3%)、輸入額0.6億ドル(同▲48.0%)、貿易総額では3.5億ドル(同▲27.7%)となった。

## 2. 市場の動き

### (1) 国際銅価格－大きく上昇－

8月の国際銅価格は1ポンド2.92159ドル(3日)で始まった。引き続き中国の経済回復への期待感と生産減少懸念による在庫減少から価格が上昇、3ドルを超えた。月末には3.05177ドル(28日)と前月末比4.4%で終了した。

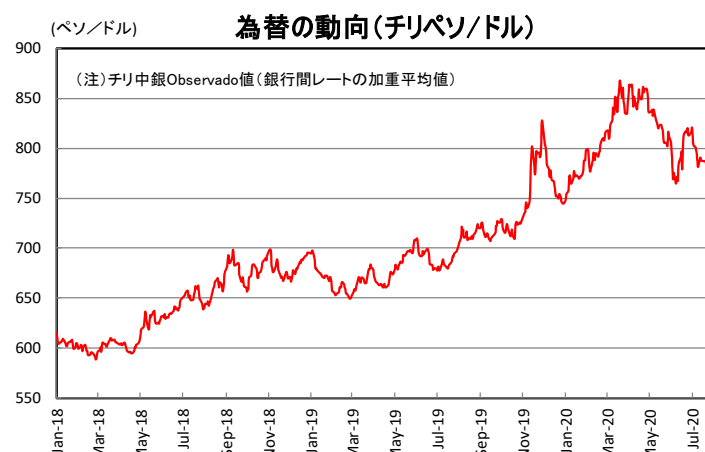
8月の銅在庫は、367,185ト(3日)で始まり、月末には336,932ト(31日)と前月末より減少した。



### (2) 為替－足下ペソ高傾向－

8月の為替は、1ドル757.06ペソ(3日)で始まった。7月末に天井を打ってからは決め手を欠きつつペソ安に振れる。下旬からは好調な銅価格等を背景にペソ高傾向に転化。

月末は779.92ペソ(31日)と前月末差25.47ペソ安で終了した。



### (3) 株価－弱含み－

8月のIPSA値(サンティアゴ主要株式指数)は3946.52ポイント(3日)で始まった。月末には3767.14ポイント(31日)と、前月末比▲6.2%で終了した。



### 3. 経済トピックス(報道情報)

(1) 16日、ピネウラ大統領は段階的経済回復計画(Paso a Paso Chile Se Recupera)のうち公共事業に関するプログラムを発表した。本プログラムは今後2年間に340億ドルが投資され、25万人の新規雇用を創出する。さらに、「ピ」大統領は、最大100万人の労働者向けの20億ドルの補助金及び今後2年間で24.5億ドルの民間企業の投資インセンティブ、中小企業向け優遇税制措置(第1カテゴリー税の25%から10%への引き下げ、付加価値税の納税期限繰延、固定資産及び無形資産形成への100%即時減価償却)及び中小企業の事業活動に関する許認可の簡素化を発表した。公共事業に関するプログラムは、経済活動と雇用創出を後押しするために、今後2年間で各省の通常予算に加え45億ドルの追加資金投入を想定する。その結果、2020年から2022年までの間に、合計で340億ドル規模の公共事業が投資される。対象プロジェクトは、直接・間接雇用を創出し、社会需要を満たし、渇水危機といった緊急の課題、自治体、モビリティ及び都市の統合を支援することで国を活性化させるインフラに焦点を当てる。公共事業省は、道路、橋梁、水利、村落への給水(APR)、沿岸整備、空港、公共施設の建設・改修・拡張に特に重点を置いた2,130件のプロジェクトを実行する。2年間の総投資額は93.6億ドルで、そのうち28.9億ドルは本計画の特別予算で手当する。公共交通機関では、地下鉄と電車への投資を加速する。コンセプトの新しい鉄道橋、高速道路2号線と3号線の延長、サンティアゴ地下鉄7号線の建設が含まれ、2年間で30億ドル以上を投資する。他方、本計画では、最も脆弱な人々、中小企業、建設労働者のための住宅ソリューションも検討する。412,900世帯に便益を提供し、本年予算は34.8億ドルを計上。都市部に投入する今年度予算は5.5億ドルで、サンティアゴのマポチョ川公園やバルパライソのムエルバロン公園などの舗装、公園、広場を整備する。

#### (2) 130万人の不活発な者がロックダウン終了後、就職活動を開始するため、失業率を上昇させるだろう

ブラボ・カトリック大学アンケート・横断的調査センター長は、失業率がまだ上昇し続ける可能性があるコメント。最新の雇用アンケートによると、年ベースで230万名の就職口が失われ、失業率が7月に10.8%に到達。しかし、衛生措置により、多くの失業者が就職活動を停止し、求職活動が不活発な者になったため、失業率が更に高い可能性がある。データをみると、130万人が公衆衛生危機がなければ、就職活動を行うと述べたため、もし、その分が補正されれば、失業率は24.4%に達するだろう。また、雇用保護法を利用している半分又は全ての労働者を解雇すれば、失業率がそれぞれ27.8%と31%に到達する。労働力は年ベースで220万名(▲23%)。他方、テレワークをしている労働者は6月の24.7%から7月の26.7%まで上昇。

#### (3) 中国におけるサーモンの売上は引き続き反発せず、サーモン業界は需要減衰が

## 本年末まで続くと見込む

6月中旬に北京の市場における新型コロナの再流行が輸入サーモンに起因するとの風評の結果、チリ産サーモンの対中輸出額はまだ低いまま。Multiexport社によると、中国の輸入食品への厳密な検査もありサーモン輸出が20%減少。Salmon Chileはチリ産のサーモンが安全であり、最も優良な生産基準に基づき生産されていることを証明するためにキャンペーンを開始する予定。しかし、サーモン業界は本年末まで状況が改善しないと予測しており、Ventisqueros社はフィリピン及びタイ等の他のアジア市場に注力すると述べた。

## (4) 5Gの開発のための入札：この技術で4Gの10倍の速度が可能に

今週月曜日、5G開発にかかるスペクトルの入札要項が発表。合計1,800 MHzの無線スペクトルに対して、4つの別々の入札が行われる。要項によれば最適な通信を可能にするより良い技術的条件をオファーした企業にスペクトルが割り当てられるため、関心企業は、必ずLTE Advanced Pro、5Gあるいはそれ以上の技術を実装する必要がある。また、入札には、すべての地方間及び首都を接続する義務がかかる。さらに省庁や地方自治体などのすべての公共機関および遠隔医療ネットワークのためにすべての医療機関を接続する必要がある。同様に、申請者は無線電気スペクトルを効率的かつ効果的に使用するための計画を提示する必要がある。申請締切：2020年10月19日、入札の実施：2020年12月30日予定。5G第1段階のサービス提供開始は2022年2月予定。

## (5) 経済状況に関するチリ人の認識は、10%引き出しをめぐる狂乱の中、3月以来最高

8月13日の週はAFPの10%引き出しや中産階級補助金がチリ人の認識を改善。Cademが毎週行っているアンケートによれば、54%が自分及び家族の経済状況について非常に良い(muy buena)ないし良い(buena)と回答、先週から10ポイント増、3月13日以降最高。AFPの10%引き出しや中産階級補助金に加え、ロックダウンの解除や段階的な商業の再開から消費見通しも改善。

## (6) AFPの10%引き出しや銅の値上がりにもかかわらず、ドルが800ドルを超えるのはなぜか？

不安定性という言葉がドルの現状を最も表している。AFPの10%引き出しや銅価格が3ドル近いことなどから750ペソ前後で安定するはずだが実際は逆。月曜の終値は6.26ペソ安の1ドル804.79ペソとなった。銅は1,53% 高の1ポンド当たりUS\$2,92で取引を終えた。専門家によれば要因は多岐にわたり、内的要因(外国投資家のドル買いの兆候や、財務大臣が8月に行うとしていたドルの放出が行われていないことなど)と外的要因(米中関係の悪化など)の双方。

## (7) 2021年に予測される投資は、工事のスケジュール変更により11%増加：鉱業と不動産

資本財法人(CBC)が作成した2020年～2024年のプロジェクト登録によると、総投資額は573億9,700万米ドル、74.4%が民間部門の投資、25.6%が公共部門の投資。2020年の投資の見通しに関しては153億7,500万米ドルと予測、3月のCBC報告書に比較して▲9%。鉱業投資の見通しは操業停止により前の四半期と比べると低下。又、ロックダウン及びその建設工事への影響は不動産投資を13.3%押し下げた。2021年投資は157億4,500万米ドル、第1四半期の予測に比して10.9%増。更に、鉱業と不動産投資はそれぞれ58%と13%増加と見込む。

#### **(8) 第2四半期の対外債務は110億5,800万米ドル増加**

チリの対外債務は第2四半期に110億5,800万米ドル増加し2,081億800万米ドルに到達。非金融企業と世帯の債務は81億2,600万米ドル、前期比10.8%増加。政府債務は32億4,800万米ドル、11.7%増加。対外債務はGDPの85.9%に相当し、その83%が米ドル、7.4%がチリペソ、6.4%がユーロ及びその他通貨で構成。

#### **(9) AFP資金の10%引出しは第3四半期のGDP低下を緩和する**

レーマンBCIチーフ・エコノミストによると、AFP資金の10%引出し及び中産階級補助金は消費と経済活動に影響を与える2つの要素であるとコメント。第3四半期のGDPは▲4.9%を記録するであろうし、本年のGDP見通し▲8.1%から▲5.6%と上方修正。様々な機関のエコノミストは▲10%～▲15%と予測。

#### **(10) BHPはチリでの操業により約10億米ドルの影響を報告**

BHPは本年度末の決算報告でセロ・コロラド鉱山の段階的な操業停止を決定した後、4億9,200万米ドルの企業価値減少が生じたことを明らかに。同社の最も優れた業績はチリであり、銅の43億米ドルに相当するEBITDAはエスコンディーダの精製所(Concentradora)が生み出したとのこと。銅の品位減少にもかかわらず、エスコンディーダ鉱山は本年上期に5.1%、59万9千トンの生産増加。

#### **(11) 2020年の銅価格の上昇により、国庫に約19億米ドルの増収見通し**

第2四半期にチリ経済が▲14.1%と落ち込む中、AFPの10%引き出しや銅価が3ドルを超えるなど下半期は良くなる兆し。銅価の改善は鉱業活動とそれに関連するサービスを後押しするほか、税収増にもつながる。もし銅価格が3ドルを維持すれば、銅の年間平均価格は当初の見通しよりも27セント増えその結果、18億9千万ドルの追加税収となる。

#### **(12) コジャワシ鉱山の歴史的な業績は、2億6,400万米ドルの納税を意味**

コジャワシ鉱山(三井物産、三井金属が出資)は本年上期に人員減にもかかわらず、32万3千トンの歴史的な生産量に到達。又、金融市場委員会(CMF)に提出した報告書によると、6億100万ドルの収益となり、2019年の3億6,300万米ドルに比して、ほぼ倍増。他方、同鉱山が本年上期に第1カテゴリ税により、2億7,400万米ドルを支払い、前年比67%増。コジャワシ鉱山の見積もりによると、チリ経済に対する同鉱山の間接・直接の影響は19億



3,800 万米ドルに達し、チリ GDP の 1.52%及びタラパカ州 GDP の 44.49%を占める。生産コストは、本年に 1 ポンド当たり 0.72 米ドルと前年同期比 30%減少を達成。同鉱山は海水淡水化プラント等を含む改善プロジェクト(36 億米ドル)の手續を取っており、来年建設の開始を見込む。

#### **(13) 自動車部門は8月に成長、AFP資金の10%引き出しは1万2千台の自動車の販売を促進**

チリ自動車協会 (ANAC) のデータによると、8月上旬に6609台の自動車が販売、本年7月上旬に比して27.6%増加。しかし、前年同期比では▲54.2%。メンドサANAC事務局長は段階的なロックダウンの解除及びAFP資金の10%引き出しに起因するとコメント。ANACとForecast ConsultoresはAFP資金の10%引き出しによる更なる流動性増加により今後数ヶ月に新車販売1万2千台を見込んでいる。事務局長は本年で計20万台の自動車の販売を見込んでおり、それは前年同期比 ▲46%を意味。

#### **(14) チリを水素製造の世界的リーダーにする道筋**

水素は、持続可能な未来のための最も有望なエネルギーの一つとして認識されており、国内での活用は2050年にチリがカーボンニュートラルを達成するための根本になりうるもの。エネルギー大臣は水素の重要性が増している旨発言しており、コロナ禍と地球温暖化の二つの危機とも長期的な課題であり、経済の持続可能性をどのように改革し強化するかについて、創造的に考える必要があるが、水素は重要な役割を果たす、チリのカーボンニュートラル計画では、水素がソリューションの約20%を占めており、投資、雇用、イノベーションを生み出す絶好の機会であると述べる。チリは豊富な再生可能エネルギーにより、水素の生産と輸出で世界をリードする可能性を秘めている。エネルギー省は水素戦略に取り組んでいる。

#### **(15) パンデミックは10万人の移民の雇用を破壊、しかし雇用されたベネズエラ人は15%**

チリ統計研究所 (INE) の最新の雇用報告書によると、1年ベースで180万名の雇用が喪失した結果、失業率が12%以上に到達。チリ人の失業者が170万人、移民失業者が10万人。

#### **(16) エコノミストらは中銀が2020年のGDP見通しを改善すると予測**

6月のIPOMでは、GDP年間見通しを▲7.5%~▲5.5%と予測していたが、多くの専門家は多少の改善があり▲5%から▲6%の間になるとみている。APFの10%引き出しやロックダウンの解除が消費の改善につながるとみられている。

#### **(17) 8月の第2週にタブレット、ノートブック、テレビの販売が200%以上増加**

AFPの10%引き出しやロックダウンの解除がテクノロジー市場の売上増加を牽引。Point of Sales Tracking de GfKの調査では、8月10日から16日の週のこれらの売上は

200%増加。電子機器、家電製品、白物家電、写真、通信、リラクゼーションに関する製品の売上高は、2019年のサイバー週間中に記録されたものより高い。パソコン、タブレット、プリンターなどを含むIT関連商品は297.7%増（特にノートブックは309%増、タブレットは424%増）となっている。次いでリラクゼーションカテゴリー（マットレスや背もたれなど）が多く248%増加。家電が204.3%増、通信家電186.6%増、白物家電150.3%増。

#### **(18) 世界のGDPは新型コロナにより第2四半期に低下し、チリは最も影響を受けた国の1つ**

世界のGDPは新型コロナにより第2四半期に前年同期比で▲6%、前四半期比▲4%。チリのGDPは、コロンビア(▲16%)、ポルトガル(▲16%)とベルギー(▲15%)に次いで▲14.1%と世界で最も悪影響を受けた国の一つ。チリの悪業績は外国市場への依存、2019年第3四半期以降の社会騒乱による活動低下及び高い感染者数と厳しいロックダウンに起因。

#### **(19) FP資金の10%引出しは110億米ドルに近づいている**

年金監督局は昨日の報告書によると、930万人がAFP資金の10%引き出しを申請、全加入者の84%に相当。現在まで支払った金額は108億1,200万米ドルに到達。

#### **(20) 下院議員が新規のAFP資金の引き出し法案を提出**

ビアンキ下院議員、サフィリオ下院議員とヒレス下院議員は新たなAFP資金の引き出し法案を提出。法案が可決すれば、本年12月に発効し、AFP資金の引き出しの期限がなくなり、引き出した金額は融資扱いとなる。

#### **(21) 住宅ローン及び商業ローンの金利が上昇**

チリ中銀は、昨日住宅ローンの平均金利が8月中旬に上昇し、2.57%から2.61%。商業ローンには、4.26%から5.51%に、消費者ローンは21.32%から21.29%となりやや減少。

#### **(22) 失業保険を改善し、雇用保護法を拡張する法案が承認される**

上院は40票の賛成で、失業保険の改正法案の混合委員会からの報告を承認。来週下院で投票が行われる予定。失業保険へのアクセスの簡素化、給付率の改善、有期契約労働者の恩恵を無期契約労働者のものと一致させることなどが盛り込まれている。また、現行法では、最初の月に給与の70%が支払われ、その後55%、45%、40%、35%と漸減するようになっているが、本法案では3月目から55%を維持し、8月から適応されるようになっている。木曜には家政婦(trabajadoras de casa particular)も失業保険の対象にする法案が提出。

#### **(23) 専門家らはパンデミック後に緩やかな経済回復を予測**

元財務大臣、元経済大臣及び元エネルギー大臣はパンデミック後の経済回復が遅くな

るとの意見が一致。トックマンQuiñenco社エコノミスト、マンスイ政治学者、ベラスコ元財務大臣、マルファン元財務大臣、バレンテ元経済大臣及びパチェコ元エネルギー大臣は、冶金工業協会（ASIMET）が主催した年次フォーラムに出席。ベラスコ元財務大臣は、新型コロナで失業者数が本年末まで増え続けるだろうとコメント。パチェコ元エネルギー大臣は、ワクチンがない中では不確実性と共存する必要があると述べた。最後にバレンテ元経済大臣は本年GDPが▲6%、失業率が20%に到達することを予測。

#### **（24）大規模鉱山は3月以降1千名の労働者を解雇、コデルコは退職計画を決定**

鉱業はパンデミックの中操業し続けているにもかかわらず、悪影響を受けており、3月以降大規模鉱山では1千名の労働者を解雇。様々な鉱山で自宅待機中の労働者を解雇しているため、労働組合は状況を注視。コデルコのチュキカマタ鉱山は3月以降500名を解雇。アラネダ・コデルコ社長は、自宅待機中での労働者が30%に達し、給料を受け取っているため、現状を維持することが難しいと認識。65歳以上の慢性病のある労働者を対象としたリストラ計画を決定。ベントナス鉱山では、健康上の理由で住宅にいる労働者が80名。チュキカマタ鉱山は昨年7月から退職計画を実施しているが労働組合は労働裁判所に同鉱山を訴えた。民間鉱山では、セロ・コロラド鉱山が100名の労働者を解雇、エル・アブラ鉱山が270名の労働者を解雇、カンデラリア鉱山が7月に100名以上の労働者を解雇、シエラ・ゴルダ鉱山及びセンチネラ鉱山では約30名の労働者を解雇。

#### **（25）インフレは引き続き限定的で8月は0.1%**

中銀によればコロナ禍の影響でインフレ圧力は短期的には限定的なものに。IPCは8月に0.1%、9月に0.2%、年率で2.6%になる見通し

#### **（26）10%引き出しとロックダウンの解除が商業の回復を促進**

社会危機、コロナ禍及びロックダウンによる需要の低下が7月の対面販売を減（▲43.7%）。しかし、商工会議所は段階的なロックダウンの解除がこの傾向を変え、8月の対面販売は大きく伸びたとコメント。

#### **（27）10%引き出しとロックダウンの解除が商業の回復を促進**

社会危機、コロナ禍及びロックダウンによる需要の低下が7月の対面販売を減（▲43.7%）。しかし、商工会議所は段階的なロックダウンの解除がこの傾向を変え、8月の対面販売は大きく伸びたとコメント。

#### **（28）高資産を有する者に対する法案による委員会の緊張**

下院においてヌニエス（PC党）財務委員長はウォーカー（DC党）憲法委員長に高資産を有する者に対する法案の審議を遅延しないよう依頼。「ウォ」委員長は論議起こす法案であり、こうした税金を課することができるかどうか専門家らとの会合を開く予定とコメント。

#### **（29）政府は経済危機の大きさを考慮して1年間最低賃金を凍結することを提案**

政府とCUTは最低賃金に関して同意に至らなかったが、国会審議のために法案は火曜に提出される予定。月曜の夜に財務省が発表した内容は、2020年9月～2021年9月の最低賃金は、320,500ペソを維持するものとなっている。財務大臣は、2020年3月から今日までの消費者物価指数（IPC）の変動が0%であるためと述べている。この提案が通れば民政移行後初めて最低賃金が凍結されることになる。今回の最低賃金の修正案はCOVID-19によるパンデミックからくる経済・労働危機を反映している旨財務大臣は述べている。

### **(30) IFEはほぼ300万世帯に達し、平均金額は19万3千ペソ**

社会開発省のデータによると、緊急家庭収入（IFE）のカバーは最初の支払いで120万世帯、今月の支払いで299万5千世帯に到達。

### **(31) 中央銀行は低金利を維持し、6月と7月のIMACECをみて経済は安定し始めたと述べる**

中銀は火曜に金利を0.5%維持を決定。さらに6月から実施中の資産購入プログラムも続行。中銀は6月と7月のIMACECは経済が安定し始めたことを示していると明言。インフレに関しては直近では一連の所得支援措置が消費に与えた一時的な影響の結果として、予想よりもやや少なくなるものの、中期的にはインフレ圧力は抑えられたままであるとコメント。

### **(32) 議会は雇用保護法を拡充し、失業保険の要件緩和法案を承認**

議会は雇用保護法を拡充し、一時的に失業保険にアクセスするための要件緩和及び受給額を増加させる法案を承認。雇用保護法を当初の10月までから2021年2月まで延長可能となる。労働時間削減の申請期間も来年7月まで延長。失業保険給付に必要な要件も一時緩和し、給付額を引き上げる。

### **(33) 中国の経済回復は銅を促進し続けている**

中国の経済回復はチリの主要な輸出品である銅価格を押し上げている。昨日、銅価格は1ポンド当たり3.08米ドルに到達。専門家らの意見は銅価格は現在の水準で維持されることで一致するが、低下する可能性もある。Plusmining社は中国の鉱工業生産が10年間で最も迅速な成長を示した上で、銅在庫が15年間で最も低い水準となったと述べた。他方、Vantazコンサルタントは今後の数ヶ月に銅供給が悪影響を受け、投資計画が延長し続ければ、銅価格高騰に対する圧力が高くなるだろうとコメント。労働市場に関しては鉱業の労働力が12ヶ月間で221%低下し、本年5月～7月の労働者数は18万5千人、昨年同期に23万4千人であったため、4万9千人が解雇。

### **(34) アナリストらは年末の米ドル安を予測**

銅価格高騰と米連邦準備制度理事会の公表により、米ドルの為替価格が引き下げられた。ハケGrupo Securityチーフエコノミストは年末までに1ドル780ペソ及び1ポンド当たり

2.85米ドルの銅価格を予測。ブラボSartor Finance戦略課長は銅価格が3米ドル以上で維持され、米ドル為替レートが770～780ペソに到達と見込んでいる。

**(35) 最低賃金法案は、3月に1500ペソの再調整と消費者物価指数反映を提案**

昨日、政府は1500ペソ高の32万2千ペソの最低賃金法案を国会に提出。2021年3月時点の最低賃金は、9月から来年2月の間の消費者物価指数（IPC）の変動を100%反映させる。

**(36) チリ鉱業企業（ENAMI）は新規の塩原を開発するための入札を開始**

リチウム開発戦略の中、ENAMIはアタカマ州におけるインフィエレス塩原及びアギラル塩原の探鉱入札を開始。マイニコッルスENAMI副社長は非金属鉱業を促進する優れた機会であるとコメント。

**(37) Air Franceが地域で操業を再開し、チリへのフライトを増加**

Air Franceは年末にチリから欧州へのAir Franceの7フライト及びKLMの5フライトを再開する予定。